

区別あっても差別なし

女性活用とワークライフバランス

平成25年12月13日
京都リビング新聞社
代表取締役社長 西光正至

当社の沿革とワークライフバランスと私

1961年 大阪生まれ(1984年 関西学院大学商学部卒 52歳)

1978年 創業 『ニューライフ(後のリビング新聞)』発行

1982年 カルチャー教室開講

1996年 京都OL向け情報誌 『シティリビング』発行

2003年 京都・滋賀のブライダルマガジン『Lei wedding』発行

2004年 (株)リクルート退社

2004年 業務委託契約でLei wedding事業責任者就任(赤字部門立て直し)

2009年 本業リビング新聞事業立て直しの為、社長就任

2012年 7月 京都府ワークライフバランス推進宣言企業登録

2012年 8月 京都府「京都モデル」ワークライフバランス認証企業申請

2012年 8月 京都市「真のワークライフバランス」推進企業支援補助金申請

2012年 9月 京都府「京都モデル」ワークライフバランス認証企業登録 N-91

2012年 10月 京都市「真のワークライフバランス」推進企業支援補助金交付決定

※出産休暇・育児休業を取得した社員の代替要員の雇用に大いに役立つ

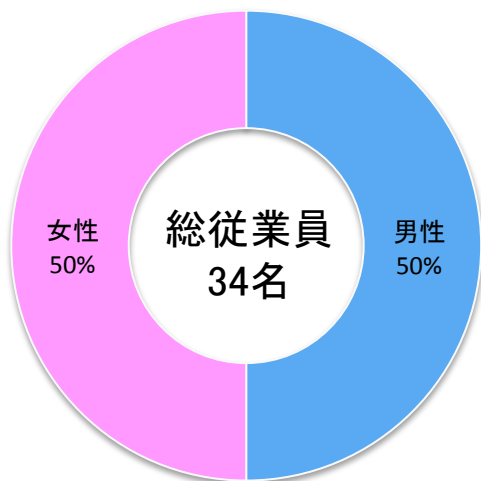
2013年 3月 京都府認証HP京の子育て応援企業事例集に取組例掲載

2013年 9月 京都府第7回子育て支援表彰 職場環境づくり部門

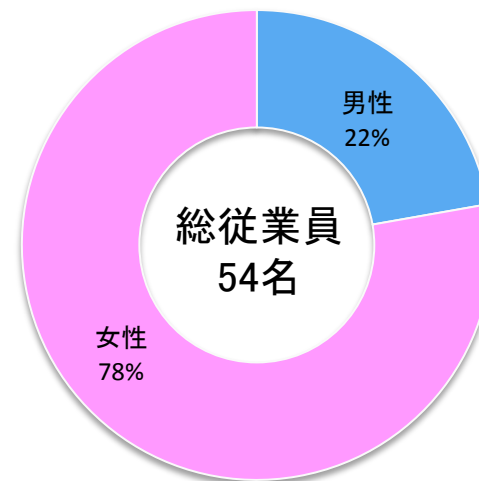
2013年 創業35周年 医療・介護人材紹介業開始

ワークライフバランス推進は自然の流れ

2004年



2014年



< 2004年 >

総従業員 34名
男性 17名(38.1歳)
女性 17名(36.4歳)

< 2014年 >

総従業員 54名
男性 12名(35.7歳)
女性 42名(34.3歳)

第一次 女性(中途)採用～活用時期 2004～2008年

業務委託契約で赤字部門Lei weddingの立て直しに着手

【課題】

結婚式に憧れる女性の為の情報誌なのに、結婚式に夢も憧れもなかったおっさん集団で事業運営

【解決策】

2005年黒字により**事業化へ**

【問題点】

当時から頑張ってくれた17名**全員正社員登用**

【契約】

中途採用活動

「ダメなら僕も契約解除。事業が成功すれば
責任持って正社員雇用します。だから一緒に頑張ろう」

第二次 女性(新卒)採用～活用時期 2009～現在

リーマンショック後、
社長として業績悪化の本業『リビング新聞事業』立て直しに着手
と共に、長期的展望に立った会社運営始動

【課題】

1. 女性の為の情報誌なのに、やはり男中心
2. それまでの場当たり感

女性が活躍できる舞台、制度、受け入れ側の心構えの整備

つまりワークライフバランスは必要不可欠

(自信あり！)

【何故女子学生？】

1. 当社サービスは殆どが女性対象。同じ目線が必要。
2. 男女に能力差が無いなら、女子の方が優秀な人物をより採用しやすい
(特に京都)

ワークライフバランスへの本格的取り組み ～意識改革編～

『個人主義・男社会』

から

男女関係ない

『一致団結主義』へ

日ごろからのコミュニケーションによる、

相互扶助社会の 形成

【結論】 結局ワークライフバランスと云っても

我々の企業規模は『家族的経営』が大切

(使い古された言葉ですが)

「ワークライフバランス」は、そのための重要ファクターの一つ

また、いくら良い制度をつくっても

- ・仏作って魂入れず

- ・絵に描いた餅

だと、無い方がまだまし

それと、もう一言付け加えるなら

『権利の前に責務あり！』